

あなたが、気になる「質問」はありますか？

質問議員8名 質問14項目



公共施設管理・整備	産業・観光 まちの魅力	道路・交通	健康・福祉	子育て支援・教育
-----------	----------------	-------	-------	----------

質問番号	質問内容	議員名
P11	熊野中学校プールの将来の活用計画は	中原議員
P10	町民グラウンドの整備に対する町の取り組みは	中原議員
P9	熊野、海田バイパス構想は	立花議員
P8	健康診断を通して町民の健康状態は	竹爪議員
P7	生活困窮者自立支援制度の充実を	沖田議員
P6	創立40周年の熊野高校との連携は	諏訪本議員
P5	子育て世代の定住対策は	民法議員

皆さんの「へいじ」にかかわることを、議員が質問をしました。

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。なお、熊野町議会のホームページ (http://www.town.kumano.hiroshima.jp) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

子育て支援教育



Q 就学援助入学学用品費の早期支給を

A 〈教育部長〉
近隣市町の支給状況等を参考にしながら今後検討していく。

【Q1】 経済的な理由により、小・中学校への就学が困難な児童・生徒を対象に、教育委員会が実施している就学援助について、その制度の概要と対象児童・生徒の状況について伺う。

【A1】 町内に住所を有し、小・中学校に在学する児童等の保護者で、認定基準に該当した場合、就学援助費を支給する。支給する費用は、全年齢を対象とした学用品費、対外活動費、給食費、学校病医療費、小・中学校の1年生に支給する新入学学用品費、宿泊を伴う対外活動や修学旅行の費用等である。

平成28年12月1日現在、認定者は、全児童・生徒の約14%である。

【Q2】 支給の時期は

【A2】 1学期は8月振り込み、2学期は1月振り込み、3学期は4月振り込みとなっている。

【Q3】 安芸郡内では、海田町が7月、12月、3月に支給。坂町が7月、9月、2月に支給。府中町では、申告書類の提出後4月以降に認定された人から順に翌月支給している。

【A3】 近隣市町の手続き等について参考にしながら今後検討していく。

支給時期の見直し、改善をするべきではないか。

Q 子育て世代の定住対策は



A 〈町長〉
妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化を図る。

【Q1】 12月から始まった中学校給食の申し込み状況はどうか。

【A1】 目標40%に対し、現状は18.5%である。

【Q2】 保護者へのPR等が必要ではないか。

【A2】 3学期からの申込受付中であり、町広報などでPRしていく。また、2月に行う入学説明会でも試食会を実施しPRに務める。

【Q3】 マイホーム購入者への助成制度は、来年度で5年目となるが、多世代同居を対象とする等の制度拡大の考えはあるか。

【A3】 多世代同居のほか、

子育て環境を改善するための増改築を対象とする自治体もあり、これらの情報を収集し、研究をする。

【Q4】 子育てに伴う経済的な負担軽減は、定住促進対策として有効であると考えられる。例えば、小・中学校入学時の祝金支給、通学等の必需品である自転車やバス定期券購入費の一部助成等の制度を設けてはどうか。

【A4】 中学生の7割が自転車通学をし、高校生の7割が町外に通学している。

全国的にも子どもの成長段階に応じて様々な支援を行っている自治体もある。定住促進対策として何が効果的であるか検討を行っていく。